

小学校 国語A



設問五、六、七は「読むこと」に関する問題です。「新聞のコラム」「物語」「作品募集の案内」など様々な種類の文章が出題されています。目的に応じて読み、その内容や構成などについて理解する能力や、要旨や書き手の意図について解釈する能力を高めることが重要となります。

この中から設問六について、考えていきたいと思います。

設問六

登場人物の相互関係をとらえることができるかどうかをみる。

次は、『オオサンショウウオの夏』という題名の【物語の一部】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

（全国学力・学習状況調査の実際の問題をご覧ください。）

〔第5学年及び第6学年〕C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

この問題は、平成26年度【小学校】国語A5（正答率65.5%）において「物語の登場人物の相互関係をとらえること」に課題が見られたことを踏まえて出題されています。



物語の読み取りは、主題読みや登場人物の気持ちを考える授業になってしまうことが多いわ。登場人物の相互関係や心情、場面についての描写まで読み取るために、どのような指導をすればよいか分からないわ……。

この問題を解くためには

主人公のぼくの視点で描かれた、一人称視点であることを理解した上で、特に会話描写に着目して、前後の文脈から登場人物の相互関係をとらえることが求められる。

指導に当たって大切なこと

- 物語の中の様々な描写から、一人一人の登場人物の行動や性格、場面の展開に即して変化する心情をとらえることができるように指導する。
- 登場人物の相互関係からそれぞれの人物像や役割を押しえることによって、内面にある深い心情も合わせて想像するなど、全体を構造的にとらえることができるように指導する。

具体的には



- 自分の読みをもとに物語の登場人物を**人物関係図**に表す。
 - ・ 物語の中の中心となる人物を押しえる。
 - ・ 叙述を基に登場人物同士の関係をとらえる。
 - ・ 関係図に表す。
 - ・ 関係図の中の登場人物を矢印などでつなぎ、行動や会話といった描写などを手掛かりにして、一人一人の登場人物の行動や性格、相手への思いや考えなどを書き込む。
- 作成した関係図をもとに、それぞれの**とらえ方**や**根拠とした叙述**が妥当であるかどうかなどを**グループ**や**全体**で話し合う。



登場人物の叙述をもとにして、相互関係を人物関係図に表すことにより、物語全体を構造的にとらえることができるようになります。

また、それぞれのとらえ方や根拠とした叙述を話し合うことにより、登場人物の内面にある深い心情を想像することにつながります。